



## 祝 辞

卒業生の皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。そして、今日巣立っていく方、お一人おひとりを手塩にかけてお育ていただいた皆さま、おめでとうございます。皆さまがこれまで注がれた愛情、お力に改めて敬意を表します。

卒業生の皆さん、皆さんが本学に入られた頃は、まだ新型コロナウイルス感染が心配な状況でしたよね。それも大型連休明けには収束に向かい、皆さんは先輩たちがなかなか謳歌できなかった学園生活をしっかりと、充実感をもって過ごしてくれたと思っています。

一方では、昨年元旦に能登半島地震に見舞われました。新潟でも液状化で多くの家屋に被害が出、大変な思いをされた方も多かったでしょう。そんな中、市内の被災家屋の泥出しや、能登の被災地でボランティア活動をされた方もいました。ボランティア活動、地域での活動は本学園の誇るべき伝統です。そこで育んだ思い、培ったネットワークをこれからの人生に活かしてください。

いま、世界は米国のトランプ政権が打ち出す政策の振り回されているように見えます。そして、これからも「予測不能な時代」が続くでしょう。そんな時代だからこそ、青陵プロミスにある「自分だけの専門性を『活かす力』」と「変わりゆく社会を『生きる力』」—この二つの力を育んできたことが皆さんの「社会を生きる大きな力」になると信じています。フェイクニュースが溢れ、AI やロボットと共存していく「変わりゆく社会」をたくましく生き抜いてください。

一方、予測不能な時代を生きるには、家族や信頼できる仲間との絆が欠かせませんし、地域とのつながりも重要です。本学園では新年度、様々な地域課題・社会課題の解決を目指し「ソーシャルイノベーション推進機構」を開設します。卒業しても皆さんは青陵の仲間、「アルムナイ」なのですから、社会で活躍するだけでなく、地域課題解決の輪にも加わってほしいと思います。

卒業されても、青陵はいつまでもあなたたちの「ホーム」です。困ったことや

何か行き詰まることがあったら「青陵アルムナイ」の扉を遠慮なくたたいてください。必ずや新しい生き方・働き方・価値観へのヒントに出会えるはずです。

最後に一言、お願いを申し上げます。人間は誰も、一人で大人になれる人はいません。あなたたちは全員、ご家族をはじめ多くの方に育てられて、今日を迎えているのです。ですから、この卒業式を契機に、自らの20年を振り返り、これまで育てていただいた方々に感謝する—そんな時間を持ってほしいのです。

それが新たな人生のスタートを切るスイッチにもなるでしょう。

皆さんの人生が幸多きものになるよう祈念申し上げ、祝辞といたします。本日は、誠におめでとうございます。

2025年3月18日

新潟青陵学園  
理事長 篠田 昭